

地域伝統の獅子舞が約60年ぶりに復活！

「と、地域の小学校で教室を開く」と、地域の小学校で教室を開く

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひと つながる



熊本市まちづくりセンター通信 vol.6

熊本市内各校区で、まちづくりに関わり、地域の活性化のために頑張っている人たちを紹介します。

60

年あまり途絶えていた伝統の獅子舞を復活させた、

城南町の「宮地獅子舞保存会」会長の中口優さん。地域の消防団や防犯協会の会長も務めるなど、積極的に地域活動に取り組み「まちのキーパーソン」です。

3年前、老人会主催の敬老会で「昔を思い出してもらえる出し物」と考え、かつて同町の七所宮（しちしようぐう）に奉納されていた獅子舞を披露したのが、保存会結成のきっかけ。しかし、当時の資料は一切残っておらず、「復活」は手探りでした。

中 口さんは、踊りやお囃子（はやし）を、親交のあつた

地元の和太鼓グループ「城南火の君太鼓」会長の上田美恵子さんに依頼。副会長の住本祐樹さんが、県内外の獅子舞を参考にオリジナルで完成させ、昨年から七所宮への奉納も再開しました。

「地域の伝統芸能を新しい形で次世代に引き継いでいきたい」と話す中口さん。現在、踊り手は、地元の消防団員や城南火の君太鼓の子どもたちが中心ですが、「関わる人を少しでも増やすこと」と、地域の小学校で教室を開

地域担当職員からひと言

宮地獅子舞の復活をはじめ、近年、城南町ではこれからの地域活動を担う若い世代が、地域行事の復活や保存などに積極的に取り組んでいます。地域活動の担い手不足が叫ばれる中、他の地域でも参考にできることがきっとあると思います。

城南まちづくりセンター
松村竜一



お囃子に合わせ、時に勇壮に、時にユーモラスに舞う獅子たち

催すなど、獅子舞の浸透と担い手育成を図っています。さらに中口さんらは、復活した獅子舞を通して「地域に新たな人と人のつながりや、世代間の交流が生まれてほしい」との思いを胸に活動を続けています。



城南町歴史民俗資料館に保管されていた、当時の獅子頭を使用



[写真左から]

城南火の君太鼓 会長 上田美恵子さん(59)

宮地獅子舞保存会 会長 中口 優さん(55)

城南火の君太鼓 副会長 住本祐樹さん(28)

お問い合わせ

- 熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月～金曜・8:30～17:15)
- chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
- 城南まちづくりセンター ☎0964(28)2260



「まち・ひと・つながる」の紙面への感想をはじめ、まちづくりに関するアイデア、相談など左記にお寄せください。